

「福井県嶺南西部地域におけるエネルギー利用形態の最適化に関する検証」の概要

1 実施内容

嶺南西部地域におけるスマートコミュニティ^{*}像を立案するため、以下の検証・検討を実施

- (1) **地域におけるエネルギー需給状況の把握と効率化のための方策検討**
エネルギー使用実態調査、および、再生可能エネルギーの導入見込み等から、地域のエネルギー需給の現状および将来を把握・推計するとともに、需給形態の効率化を図るための方策を検討
- (2) **家庭・業務部門の低炭素化のための方策検討**
住宅やオフィス等における再生可能エネルギー導入や省エネによる低炭素化のための方策を検討
- (3) **低炭素農業の展開のための方策検討**
ヒートポンプを利用した農業の低炭素化等のため方策を検討
- (4) **エコ交通システムの構築に向けた方策検討**
オンデマンド交通システムなど新たな交通システムの実施や、EV・PHV の導入促進のための方策を検討
- (5) **災害に強い社会システムの構築に向けた検討**
緊急時の避難所等におけるエネルギー供給システムの確立等による災害に強い社会システム構築のための方策を検討

「スマートコミュニティ」とは

電気、熱、未利用エネルギー等のエネルギーを地域単位で統合的に管理することに加え、交通システム、市民のライフスタイル転換などを複合的に実施することによりエネルギーの総合的な有効利用を図った地域社会

2 対象地域

嶺南西部地域(高浜町、おおい町)

3 実施体制

嶺南西部地域低炭素の街づくり推進協議会 スマートコミュニティ構想WGで実施
WG メンバー:福井県、高浜町、おおい町、関西電力、福井大学
〔調査会社(環境総合テクノス)から申請〕